

## おうみはちまん町家再生ネットワーク設立宣言文

人口の減少や高齢化の進行などにより、旧市街地における空き町家が増えつつあり、これを放置すれば、歴史ある美しい町並み景観が損なわれるばかりでなく、地域のコミュニティの希薄化が懸念されます。

このような背景から、近江八幡市行政では旧市街地に増加しつつある空き町家を、地場産業など職人の技術伝承の場として創出することによる地域産業の育成をはじめ、商工業・教育・福祉・文化芸術など様々な利活用によって、まちの活性化を図ることを目的とした「近江八幡市モノづくりビレッジ構想」を策定されています。

この構想を推進していくとともに、地域の賑わいを創出していくため、空き町家の保全・活用方法を見出し、自然と文化が織りなす美しさと、落ち着いたあるたたずまいから培われてきた近江八幡らしい伝統と気性を後世に継承しながら、福祉や防災など様々な地域活動など暮らしを守るコミュニティの充実を図ることを目的に、「おうみはちまん町家再生ネットワーク」を設立します。

平成21年11月19日  
おうみはちまん町家再生ネットワーク